

「分子生体応答研究分野セミナー」を開催

2017年4月24日

4月24日（月）に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、金沢医科大学 医学部 免疫学講座 教授 小内 伸幸先生を招いて、分子生体応答研究分野セミナーを開催しました。

セミナーでは「樹状細胞の分化起源と同細胞による免疫制御機構」という演題で、免疫反応のキープレイヤーである樹状細胞に関しての最新の研究成果について講演いただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約20名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



分子生体応答研究分野セミナー

日時:2017年4月24日(月)17:00~18:00

場所:がん進展制御研究所・会議室(4階)

**演者:小内 伸幸 先生
(金沢医科大学・医学部・免疫学講座・教授)**

**演題名:
樹状細胞の分化起源と同細胞による免疫制御機構**

小内先生は、本研究所の松島綱治教授の研究室の大学院生として、ケモカインの研究を開始し、松島教授の異動とともに、東京大学に移籍し、学位を取得しました。その後スイスのInstitute for Research in Biomedicineに留学され、樹状細胞の分化起源とその免疫機構での機能に関する研究を開始しました。帰国後は、樗木俊聡教授(東京医科歯科大学・難治疾患研究所)の研究グループに加わり、樹状細胞に関する研究を引き続き精力的に行い、昨年12月に現職に就任されています。(Immunity 38, 943, 2013; Immunity 39, 584, 2013; Immunity 41, 5, 2014)

今回は、免疫反応のキープレーヤーである樹状細胞に関しての最新の研究成果を紹介していただく予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)